

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	261-01-01				
事務事業名		害虫等対策事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2843		
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	6	環境衛生		款	4	衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全		項	2	清掃費
					目	1	清掃総務費
対象(誰を・何を)		一般市民					
目的(どうしたいか)		衛生害虫及び不快害虫の抑制及び駆除を行うことにより、公衆衛生の向上を図り、健康で快適な生活環境を確保する。					
手段(事業内容)		公共用地や水路等に不快害虫抑制剤・害虫駆除液の散布を行う。					

事業費

単位:千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	252	248	300
人件費	1,130	1,126	1,144
総事業費	1,382	1,374	1,444
うち市負担分	1,382	1,374	1,444

元年度決算主な内訳
【事業費】 薬剤購入(不快害虫抑制剤)
【特定財源】

活動指標

指標名	1年間で薬剤散布及び配布した延件数	単位	件
指標の説明	市民相談により、市が行った薬剤散布及び市民に薬剤配布した延べ件数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	28	18	18

参考数値

成果指標

指標名	市が行った公共用地への薬剤投入及び散布率	単位	%
指標の説明	市民の相談により、原因場所が公共用地と判明した場合には薬剤の投入及び散布を行う。		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	100	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 衛生害虫や不快害虫についての相談件数は、年々減少しているが、気候変動に影響されることから今後も増加する可能性が高く、衛生的な環境を維持するために継続して事業を実施する必要がある。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	261-01-02				
事務事業名		飼犬登録及び狂犬病予防事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2842		
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	6	環境衛生		款	4	衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全		項	1	保健衛生費
					目	3	環境衛生費
対象(誰を・何を)		犬を飼っている市民					
目的(どうしたいか)		飼い犬登録率・狂犬病予防注射接種率の向上を目指すと共に、狂犬病に感染しないように理解と予防に取り組む。					
手段(事業内容)		市内獣医師と委託契約し、市内40箇所での年1回の集合予防注射実施によって、各地域ごとに飼い犬登録と狂犬病予防注射の接種がしやすい環境を作って目的達成に取り組んでいる。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	1,472	991	1,096
人件費	5,703	4,973	4,944
総事業費	7,175	5,964	6,040
うち市負担分	7,175	5,964	6,040

元年度決算主な内訳
【事業費】 予防注射関連文書送付料 255千円 登録・注射済票手数料徴収事務委託料 586千円

活動指標

指標名	集合注射 会場数	単位	箇所
指標の説明	注射頭数向上のための取り組み		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	40	40	39

参考数値
令和元年度末総登録頭数 5,214頭 令和元年度注射頭数 3,119頭

成果指標

指標名	狂犬病予防注射の接種率	単位	%
指標の説明	登録頭数に対する注射頭数(注射頭数÷登録頭数×100)		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	59	60	60

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 法で定められている事業で、今後も狂犬病予防注射の接種率を向上させるよう、事業を継続していく必要がある。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	261-02-01				
事務事業名		共同浴場管理運営事務事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2842		
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	6	環境衛生		款	4	衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全		項	1	保健衛生費
					目	3	環境衛生費
対象(誰を・何を)		市民					
目的(どうしたいか)		保健衛生の向上及び生活環境の改善を図る。					
手段(事業内容)		施設のある地域町会に指定管理者として管理運営を委託し、利用者へのサービス向上を図る。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	10,533	8,607	5,085
人件費	2,948	2,580	2,549
総事業費	13,481	11,187	7,634
うち市負担分	13,481	11,187	7,634

元年度決算主な内訳
【事業費】
【特定財源】

活動指標

指標名	営業日数	単位	日
指標の説明	営業日数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	308	309	310

参考数値
延べ入浴者数(年度別)
R01 21,174人
H30 22,190人
H29 23,113人

成果指標

指標名	延べ入浴者数	単位	人
指標の説明	現金及び回数券による延べ入浴者数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	22190	21,174	21,000

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	成果は不十分である。	C
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 施設の老朽化や利用者の減少など課題は多く、現在進めている市営住宅の改修整備完了までに、事業のあり方を検討する必要がある。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	261-03-01				
事務事業名		環境調査・監視事務事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2830		
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	6	環境衛生		款	4	衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全		項	3	公害対策費
					目	1	公害対策費
対象(誰を・何を)		羽曳野市域の環境(水・大気・騒音等)					
目的(どうしたいか)		日常生活の住環境のために大気、河川水質、騒音の状況を監視し、被害・異常発生の未然防止に努める。					
手段(事業内容)		市域では府の環境監視を行う観測地点がないため、人への健康被害や動植物への影響など環境被害が生じないように河川水質(5水系、5定点)、大気質(一般環境DXN、2地点)、環境騒音・自動車騒音面的評価(幹線沿道4定点、一般地域22定点)での状態を通年に監視する。					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	9,221	9,157	11,026
人件費	3,779	3,795	3,748
総事業費	13,000	12,952	14,774
うち市負担分	13,000	12,952	14,774

元年度決算主な内訳
【事業費】
水質検査委託料 4,385,896円
大気検査委託料 2,985,520円
環境騒音測定委託料 605,000円
自動車騒音面的評価委託料 486,000円
その他 694,124円

活動指標

指標名	調査地点数	単位	地点
指標の説明	羽曳野市域で測定を行っている調査の地点数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	36	35	36

参考数値
ダイオキシン類
西部 0.031 pg-TEQ/m ³
東部 0.020 pg-TEQ/m ³
(基準値: 0.6)
大気
浮遊粒子状物質(SPM)
古市局 0.015 mg/m ³
郡戸局 0.014 mg/m ³
(基準値: 0.10)

成果指標

指標名	一般環境騒音に係る環境基準達成率	単位	%
指標の説明	全時間帯(朝・昼・夕・夜)での環境基準達成率		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	100	86	100

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 市民からの環境に対する関心が市に多く寄せられている。今後、調査項目の再検討や新規調査項目の検討も必要になってきている。市民にとってよりよい住環境を創成し、安全で安心して暮らすことができるまちづくりを目指す。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	261-03-02				
事務事業名		環境相談・指導事業		事務の種類	自治事務(義務的なもの)		
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2830		
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	6	環境衛生		款	4	衛生費
	施策の方向	1	自然環境の保全		項	3	公害対策費
					目	1	公害対策費
対象(誰を・何を)		市民相談					
目的(どうしたいか)		生活環境の保全、向上、及び、地域の美化推進を図ることにより住み良いまちづくりを進める。					
手段(事業内容)		市民からの相談に対するアドバイス、工場・事業場に対する指導等。					

事業費

単位：千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	4,157	3,795	3,748
総事業費	4,157	3,795	3,748
うち市負担分	4,157	3,795	3,748

元年度決算主な内訳
【事業費】
【特定財源】

活動指標

指標名	苦情相談件数(公害・美化)		単位	件
指標の説明	年間の苦情相談受付件数			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	110	82	80	

参考数値
公害苦情件数 38件 美化条例苦情件数 44件 (内解決件数 75件)

成果指標

指標名	苦情相談 解決率(公害・美化)		単位	%
指標の説明	苦情相談を受理し、解決した割合			
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)	
	72	91	92	

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 今後、急激な生活環境の変化は考えられないため現状維持の評価とする。 課題としては相談内容が多様多岐に及ぶため、対応に苦慮することがある。 研修等への受講、装備の充実により、対応力や資質の向上を図る。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	262-01-01				
事務事業名		石川クリーン作戦事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)		
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2830		
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	6	環境衛生		款	4	衛生費
	施策の方向	2	環境美化の推進		項	3	公害対策費
					目	1	公害対策費
対象(誰を・何を)		石川河川流域、及び、流域住民					
目的(どうしたいか)		河川流域の水質向上及び水環境の改善を通じて流域住民の意識向上を図る					
手段(事業内容)		官民共同で河川流域の清掃(新型コロナウイルス感染拡大予防のため中止)					

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	806	1,016	116
人件費	4,157	3,795	3,748
総事業費	4,963	4,811	3,864
うち市負担分	4,963	4,811	3,864

元年度決算主な内訳
【事業費】 石川クリーン作戦用品(リュック・軍手) 1,016,400円

活動指標

指標名	参加者数	単位	人
指標の説明	クリーン作戦当日の参加人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2405	0	2,500

参考数値

成果指標

指標名	ごみの回収量	単位	t
指標の説明	クリーン作戦でのゴミ回収総量		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	9.7	0	10.0

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	成果は不十分である。	C
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 現在、大和川流域において、環境、河川、下水道の各担当部局が、共に連携し、流域ぐるみで水辺環境の改善について計画等を策定し、取り組みを推進しているところです。また、河川における水環境問題や流域市町村の水道水の取水問題、海洋域におけるマイクロプラスチックや漂流ゴミの問題などを含んでおりますので、本市においては、事業を継続しながら将来の方向性の検討を行います。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	262-01-02		
事務事業名		まちかど清掃事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2841
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計 1 一般会計
	施策	6	環境衛生		款 4 衛生費
	施策の方向	2	環境美化の推進		項 1 保健衛生費
					目 7 環境美化対策費
対象(誰を・何を)		羽曳野市域			
目的(どうしたいか)		公共施設周辺のポイ捨てゴミの清掃を行うことにより、環境美化の啓発を行う。			
手段(事業内容)		市職員による駅前及び公共施設周辺の清掃活動			

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	0	0	0
人件費	453	455	450
総事業費	453	455	450
うち市負担分	453	455	450

元年度決算主な内訳
【事業費】 必要経費なし

活動指標

指標名	開催回数	単位	回
指標の説明	まちかど清掃開催回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	0	2	2

参考数値
職員参加人数 2016年 5月 148人 2016年11月 145人 2017年 5月 153人 2017年11月 177人 2018年は雨天等のため実施なし 2019年 5月 221人 2019年11月 230人

成果指標

指標名	職員参加人数	単位	人
指標の説明	まちかど清掃参加延人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	0	451	450

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 環境美化に対する意識の向上のために啓発活動の手法・手段を検討し、市域のポイ捨てゴミの減少に努める。

令和2年度羽曳野市事務事業評価シート(令和元年度実施事業)

		コード	263-01-01			
事務事業名		環境教育推進事業		事務の種類	自治事務(任意のもの)	
担当部署名		生活環境部 環境衛生課		連絡先	内線2830	
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1 一般会計
	施策	6	環境衛生		款	4 衛生費
	施策の方向	3	環境教育の推進		項	3 公害対策費
					目	1 公害対策費
対象(誰を・何を)		羽曳野市域の小学生				
目的(どうしたいか)		環境教育の一環として、エネルギーと環境との関わりを考える授業や、水生生物とのふれあいを通し、環境について関心を喚起し美化の推進につなげる。				
手段(事業内容)		関西電力(株)協力による「環境教育授業」、大阪府石川河川公園との共催事業の「水辺の観察会」				

事業費

単位: 千円	30年度決算	元年度決算	2年度当初予算
事業費	19	0	30
人件費	3,023	3,036	2,998
総事業費	3,042	3,036	3,028
うち市負担分	3,042	3,036	3,028

元年度決算主な内訳
【事業費】 消耗品費 246円

活動指標

指標名	環境教育開催回数	単位	回
指標の説明	環境衛生課で行っている環境教育の開催回数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	2	2	2

参考数値
7月 水辺の観察会 19人 1月 環境教育授業 (はびきの植生学園5年生対象) 50人

成果指標

指標名	参加者数	単位	人
指標の説明	環境教育の参加人数		
指標データ	30年度実績	元年度実績	2年度目標(見込)
	70	69	80

個別評価

妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価

<input checked="" type="checkbox"/> 拡充・重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 縮小・統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 休止・廃止
担当部局が総合的に判断した評価の理由・課題・今後の改善内容 民間力の活用や大阪府との共催で事業を行うことにより経費の節減が出来た。また、環境保全への意欲の増進を目的とした環境教育の取り組みとして、感性の柔らかな年代である小学生と家族を対象とした「水辺の観察会」や民間事業者が行う「電気の話」は、子どもたちの未来に向かって「環境」という意識付けになることを目的としているので、事業の継続が望ましい。